あせらず一緒に勉強
新入生の家庭心得

お母さんは・最良の家庭教師

四月五日は入学式、はじめて子どもを小学校に入れる家庭の喜びは非常に大きいことでしょうが、反面「どんなしつけや勉強をさせたらよいのか」「毎日楽しく元気に学校へやるには」など不安もつきまといます。

そこで、新入学児童をもつお母さんの心得をあげてみました。

◆交通事故から子どもを守る

何といつても一番心配なのは学校、家庭間の往復です。

①右側通行　②信号の見分け方　③黄色い旗の意味　④道を広がつて歩かない　⑤早目に家をでる　⑥道草や回り道をしない　⑦よそ見しながら歩かない　⑧大通りへとびでない　⑨車の前後を横切らない　などを子どもに教える。

◆よい習慣を身につけさせる

「自分のことは自分でする」この習慣はたいがいしつけられてあると思いますが、更に次のことを、

①〝ハイ〟の返事がよくできる　②あと始末をしつかり　③友達とはなかよく　④服装はきちんと　⑤一人で洋服を着られ、たためる。

◆勉強ずきな子どもにする

聞く、読む、書く、考える、これが一番重要で、これから学習が展開されます。

多くのことを教えこむより、学ぶ精神、態度を身につけさせましよう。とくに考える態度を養い、疑問、研究心には適正な助言をし、納得いくまで考えるよう指導する。

◆強い体、丈夫な子どもに育てる

健康であることが学校生活の土台です。それには、

①偏食をなおす　②トラホームちくのう、むしばなどの疾患は治療しておく　③歯磨、うがい手洗いのくせをつけさせる　④早寝早起き

◆よい母こそ最良の家庭教師

子どもが可愛いため、ともするとあらい言葉を使うのをよく見受けられます。ところが母の願いと反対の結果を生むことが非常に多いことを知つてください

①「そんな事がどうしてわからないの」②「馬鹿だね！」③「そんなことじや見込ないわね」④「お母さんを心配ばかりさせて」⑤「またそんなことをして」

この五つの言葉が口からでそうになつたら、すぐかみしめてください。これらは結局、伸びる芽をつんでしまうようなものです。この禁句をつつしみ守る母親こそ最良の家庭教師です。

母にかぎらず家庭全体で、あせらず、ゆるめず一歩一歩力強く子どもとともに学んでいくよう心がけましよう。

学校別にみた新入生児童数

学校名	男	女	計	(昨年)
吉原小	120	107	227	288
今泉小	130	126	256	232
伝法小	101	100	201	205
神戸小	18	18	36	68
元吉原小	103	84	187	163
東小	11	18	29	33
須津小	69	65	134	145
吉永第一小	60	64	124	150
吉永第二小	11	15	26	38
勢子辻分校	0	2	2	1
原田小	73	70	143	141
大淵第一小	57	46	103	124
大淵第二小	5	6	11	15
計	758	721	1479	1603

栄与に輝く11人
初の吉原市長表彰

吉原市では昭和三十六年十二月市勢の興隆伸展に著しく功績のあつた人や、善行者を表彰するために「表彰条例」を制定しました。これに基づく第一回表彰審査委員会(委員長金子市長)は三月七日開かれ、委員慎重審議の結果、初の市長表彰には、自治功労の現市議会議長勝又竹雄氏ら次の十一人と決めました

この表彰式は三月三十日市民会館第一集会室で行なわれ、賞状と記念品がそれぞれ金子市長から授与されました。

勝又竹雄　杉山芳作　広瀬幸作　望月広作　望月つぎ　岡田香積　堀野関太郎　曽根田新作　福田七郎　上杉諦礼　増田貞蔵

◇地方自治功労

勝又竹雄（かつまた たけお）(五三) 市議会議長　会社社長。伝法二九八五番地の一の五（長者町）

昭和二十二年吉原町議会議員に当選、二十三年四月市制施行と同時に第一回市議会議員に当選以来連続五期在職通算十六年にわたり、この間、特例、十二代副議長、十三代、十九代議長、市有財産処理委員長、田子の浦港特別委員長、東海電化誘致委員長を始め幾多の公職を歴任し常に産業文化の向上、市民の福祉を念頭に漸新的施策を提唱し地方自治の伸展に貢献した。

杉山芳作（すぎやま よしさく）(六四) 市議会議員　農業。今泉一三五一番地（鍛冶町二）

昭和二十二年吉原町議会議員に当選、二十三年四月市制施行と同時に第一回市議会議員に当選以来連続五期在職通算十六年にわたり、この間、特例、十二代副議長、十三代、十九代議長、岳南排水路促進委員長国鉄新幹線対策委員長を始め幾多の公職を歴任し、産業文化の向上、市民の福祉を念頭に多くの漸新的施策を提唱し地方自治の伸展に貢献した。

広瀬幸作（ひろせ こうさく）(六〇) 市議会議員　会社社長。原田十八番地の一（宇東川町一）

昭和十七年原田村議会議員に当選以来、村議三期、市議二期在職通算二十一年余にわたり地方自治に参画し、この間原田村議会議長始め多くの公職を歴任し多くの自治伸展に貢献をした。

◇教育文化功労

望月広作（もちづき ひろさく）(七三)・**望月つぎ**（七〇）夫妻。無職、今泉九十番地（富士見町）

昭和十二年今泉小学校用務員として就任、以来二十五年の間職務に精励し、終始一貫その真面目さと明朗さは全職員の信頼の的で、児童から慈父の如くしたわれ、学校を愛し、子どもと共にあることをこの上ない喜びとし、仕事一筋に生きて来た事績は関係職員の模範で児童の善導と学校管理の業務に貢献した。

岡田香積（おかだ かずみ）(六四) 日大三島高校講師。今泉一四一三番地の五（上和田町）。

昭和九年本市に居を構えて以来二十八年余、音楽教育の権威者として学校音楽教育は勿論、音楽を通じて市民の情操教育に貢献され、本市の音楽のレベルを県下のトップクラスに引きあげた。県下初の管弦楽団を結成、音楽都市吉原の名を高めたほか市民合唱団、男声合唱団等の生みの親である。また市文化連盟理事、同連盟洋楽部長等を歴任音楽教育の振興に寄与している

◇産業功労

堀野関太郎（ほりの せきたろう）(八九) 無職。今泉一一七番地の一（泉町）

明治二九年兄と共に製紙業を営み、以来製紙業に専念、明治四二年独立して現住地に手漉工場を操業した。引き続き大正十二年機械抄に切換え、四十吋の抄紙機を据付け、さくら紙を抄いた。このような技術向上の気持が後進の業者に反映して現在の機械抄和紙の生産を全国水準まで引き上げる礎を築いた。また従来の潮水利用から脱皮して井戸をほり揚水利用の草分けといわれる。

曽根田新作（そねだ しんさく）(六三) 農業。伝法三〇五九番地の一（三日市）。

戦前、戦後の食糧難当時、甘しよ（藷）、大小麦の多収穫改善を研究、その増産の実を挙げ、これが指導普及に努めた。供米同時に第一回市議会議員に当選以来連続五期在職通算十六年にわたり、この間、十二代、十六代議長、岳南排水路促進委員長国鉄新幹線対策委員長を始め幾多の公職を歴任し、産業文化の向上、市民の福祉を念頭に多くの漸新的施策を提唱し地方自治の伸展に貢献した。

◇社会福祉事業功労

福田七郎（ふくだ しちろう）(六四) 民生委員、歯科医。吉原市二一番地（本町二丁目）

昭和二十一年以来継続して民生委員として、生活困窮世帯、身体障害者、児童問題等の相談相手となり、必要な援護活動を行なつてきた。また昭和二十六年吉原市社会福祉協議会の発足以来副会長として会の運営と地域福祉活動に尽力、更に共同募金会の募金活動には格別の奉仕精神を発揮、他に誇り得る推進力となつた。

上杉諦礼（うえすぎ たいれい）(七八) 保護司、僧侶。今泉一四一一番地（上和田町）

はやくから県方面委員、県救護員、静岡家庭裁判所参与、市選挙管理委員、保護司、司法委員等各委員を歴任、人格高潔宗門関係でも稀にみる人格者として敬愛され、選挙管理委員長として公明選挙に尽した功績は高く評価され、保護司として現在まで更生されたもの数多く、青少年の保護育成には鑑をつき帰宅の時を知らせる等、非行防止に協力したほか、社会福祉に貢献している。

◇運輸交通功労

増田貞蔵（ますだ ていぞう）(六二) 教育委員、会社社長。西柏原新田一五九番地（柏原町）

昭和二十三年地区住民の衆望を担い、東海道本線柏原駅新設期成同盟会長として日夜東奔西走遂に二十四年仮乗降場として許可。同年九月東田子浦駅として開駅させるなど、当地方の産業開発に多大の貢献した。その他市固定資産評価委員、吉原市教育委員長等歴任、調定委員は通算十四年の経歴がある。

療養給付費（世帯主）30%に引下げ
保険税の一部改正

健康で文化的な生活を営むための医療保障施策も全国民の国民健康保険加入により達成されました法律による事業および内容については各市町村保険者の財政事情などもあり、多少は違いますが、基本的には変りません。

昭和三十八年度の国民健康保険事業は制度の向上推進により改善され、その主なる点は下の表のようになります。

なお、その他については地域撤廃による医療費引き上げ、使用薬品制限の一部解除、結核治療指針の拡大などが実施され、これに伴う療養給付費は被保険者一人当り年額四、五七二円の支出となり保険給付内容も充実されます。

保険税については、昭和三十四年当時の倍額となり、最高限度額は五万円に改正されますが、これらは療養給付費の上昇率に相当するものです。

国民健康保険制度は今後も時流にしたがい改善されます。特に昭和四十二年までには全世帯員についても療養費の一部負担は三割に引き下げられることになつています。

種別	療養給付率	助産費	保険税軽減	38年度保険税、被保険者一人当り額
現行	5割	1.000円	—	平均年額(37年度) 955円
改正	世帯主のみ 3割	2.000円	年間所得額 9万円以下	平均年額 1.343円
実施月	10月	4月	38年度中	4月
摘要	被保険者一部負担 窓口払分	医療費 金、 被保険者出産費	低所得者の均等割平等割の2分の1程度軽減見込	納期年10回

年配層に多い違反
公明選挙の話し合い終る

市選挙管理委員会では、去る三月十二日〝公明選挙の話し合い活動〟と題し、町内会長、婦人会、青年団、新有権者からそれぞれ二名（計八名）を選び、〝選挙が公明に行なわれるにはどうすればよいか〟をテーマにした話し合いを市民会館で行ないました。

活発な論議がかわされたこの話し合いも、その焦点は四月三十日に行なわれる市議会議員選挙にしぼられ、それを総括すると①市民の代表である立候補者は、市政に対する抱負を個人演説会で広範囲に知らせてもらいたい。②選挙管理委員会は候補者の経歴抱負を有権者に知らせる方法を考えてもらいたい③有権者は身近な選挙なため義理人情にとらわれがちとなりあるいは町内本位になる場合が多いが真に市民の代表を選ぶという自覚と、進んで市政を勉強する必要がある。④選挙違反は厳重に取り締り違反者は選挙期日前でも摘発してもらいたい。⑤公明選挙をおこなうには、婦人層、青年層に活動してもらうとよい。なお、若い層から「違反は良識をわきまえているはずの年配層に多いので反省してもらいたい」という強い発言がありました。

これらの話し合いを通じて、この問題は早急に解決できるものではないが、政治、選挙知識の普及徹底のために、たゆまず努力しなければならないことが痛切に感じられました。

◇出席者

町内会長　市河新平（依田原）
　　池野光平（上中町）
　　小口れう（宮町）
婦人会　今泉春枝（市場）
青年団　小島久光（神谷）
　　薬科益穂（西比奈）
新有権者　安藤茂樹（富士岡）
　　吉野世子（住吉町）

候補者（推薦）届出
4月20日～25日まで

四月三十日行なわれる吉原市議会議員選挙の立候補届出、推せん立候補届出の受け付けを次により行ないます。

◇期日　4月20日～4月25日まで
◇時間　毎日、午前8時30分～午後5時まで
◇場所　吉原市選挙管理委員会
但し、4月20日の受付は市議会議事堂本会議場で行ないます。
◇受付順序　届出期間中、毎日午前8時30分までに届出者が2名以上あるときはくじにより受付順序を決定します。

補充選挙人名簿の申請
4月23・24の二日間

▼申請できる人
吉原市に3カ月以上（昭和38年1月23日以前から）住んでいて満20才以上の方（昭和18年4月24日以前生れ）の方
▼申請期間　4月23、24の二日間
▼申請時間　午前8時30分～午後5時まで
▼申請場所　市民課窓口（印鑑持参）

なお、申請用紙は市民課及び各支所に用意してあります。

無効投票に注意

候補者でない人の氏名を書いたり、記号や符号など余分なことを書くと、せつかくの投票が無効になります。

市議会議員選挙では同姓の人、同名の人が出てきます。投票用紙には候補者の氏名一人をはつきりと書いてください。

お知らせ

市立図書館起工なる

吉原市の懸案だつた市立図書館がいよいよ建設されることになりその起工式が、去る三月五日、建設地の今泉水の上で行なわれました。この図書館は、鉄筋コンクリート三階建で、延べ一、三二七平方米、工費六、二〇〇万円がかけられています。

十月一杯で完成する図書館も、住吉町からの移転などで、本格的に市民の社会教育施設となるのは十二月頃とみられています。

その概要は、一階がホール、事務室、応接室、児童閲覧室。郷土史料室、二階は読物室、新聞・雑誌閲覧室、一般閲覧室、書庫、三階は会議室、休憩室となります。

引揚者給付金の申請
5月15日で締切

終戦により、外地から引揚てきた人、または、その遺族に対する〝引揚者給付金〟の受給申請は5月15日で締め切られます。

まだ申請をしていない人は、社会課で手続をしてください。

なお、給付金額は次のとおりです

◇引揚者給付金額

年令	金額
50才以上	2万8千円
30才～49才	2万円
18才～29才	1万5千円
18才未満	7千円

◇引揚者遺族給付金額

18才以上	2万8千円
18才未満	1万5千円

これに該当する年令は昭和20年8月15日現在です。

特許出願補助を受付

特許庁では、わが国の産業経済の発展をはかり、外貨獲得のため特に外国向け特許出願について、その費用の一部を補助する制度を採用していますが、今回は昭和三十年度以降で優秀な発明とみられるものを個人、中小企業を対象に補助することになり、この受付を去る三月一日から行なつています

市内で対象を希望される方は商工課にお問合せください。

固定資産税令書の発送

今年もまた固定資産税の納期がきました。これに使われる固定資産税の令書は各納期ごとに送達されます。

なお、納期前に納付を希望される方は課税課まで申し出てください。全期分（四期）の令書を送ります。

衛生課では4月11日から24日まで、市内全地域にわたり、狂犬病予防注射をおこないます。

なお日程については、追つて通知します。

〈市役所〉

〝NHK吉原市だより〟は、毎週土曜日午後5時20分から（静岡第一放送）〝無線広報〟のお知らせは毎日午前7時45分と午後4時45分。